

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 27 日作成)

| | | |
|------------------------------|---|--|
| 小委員会名 | 地球環境配慮型住育小委員会 | 主 査 名：高橋 達 就任年月：2011 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 地球環境委員会 | 委員長名：小玉 祐一郎 主 査 名： |
| 設 置 期 間 | 2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | 地球環境問題解決に向けた建築分野からの貢献の一つとして、環境配慮建築（ハードウェア）に加えて、環境負荷低減を可能とするライフスタイル（ソフトウェア）の啓発普及が必要不可欠である。本小委員会では、建物の利用を広義の「住」ととらえ、地球環境配慮型の「住」に関する教育について、その方法と実践事例を収集・体系化するとともに、その成果を学校教育や建築教育、生涯教育など、広く教育現場に還元し、環境配慮型ライフスタイルの実践・普及を目的とする。 | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：有り 高橋達（東海大学）、菅原正則（宮城教育大）、高柳有希（エコエナジーラボ）、斉藤雅也（札幌市立大）、篠節子（篠計画工房）、宿谷昌則（東京都市大）、妹尾理子（香川大学）、田中稲子（横浜国大）、谷口新（大妻女子大）、西川竜二（秋田大学）、平石年弘（明石高専）、村田昌樹（OM ソーラー）、廣瀬和徳（教育環境研究所）、柳瀬真紀（竹中工務店）、吉野泰子（日本大学） | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | | |
| 2012 年度予算 | 100,000 円 | ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/tkankyo/s1/ |

| 項 目 | 自己評価 |
|--------------------------------|---|
| 委員会開催数 | 4 回（年度内計画を含む） |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校建築の先進事例コンサルを専門とする委員と建設会社ボランティア活動を実践委員の新規参加により、より体系的な事例の収集・分析が進んだ。 2. 他団体との連携や活動状況について情報交換し、環境配慮型ライフスタイルの実践・普及に向けた準備を進めた。 3. 昨年度、環境省学校エコ改修全国会議で実施した照明に関する体験学習プログラムは水俣市立第市中学校の全1年生を対象にした環境学習活動となり、上述した断熱・暖房に関するプログラムは全2年生対象のプログラムとして継承されることになった。また、水俣市はこれらを全市の中学校で普及することを検討している。以上のことに加えて、委員が例えば香川県や浜松市の環境学習用教材の監修を行うなど、まだ数少ない事例ではあるが、地域ごとに環境配慮型の住育実践が普及展開しつつある。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 他団体（子ども教育支援建築会議運営委員会など）との連携関係から、地球環境配慮型住育の実践に必要な専門家派遣体制につながる基礎をつくりたい。 |